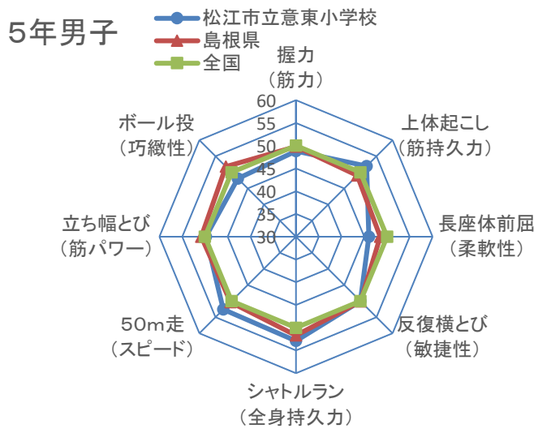
【資料1】

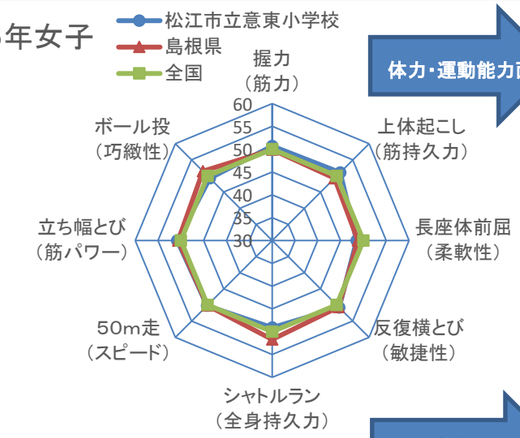
# 令和4年度　体力・運動能力調査結果及び分析・対策

令和5年3月29日

松江市立意東小学校

## （1）令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（全国平均を50としたときの比較）

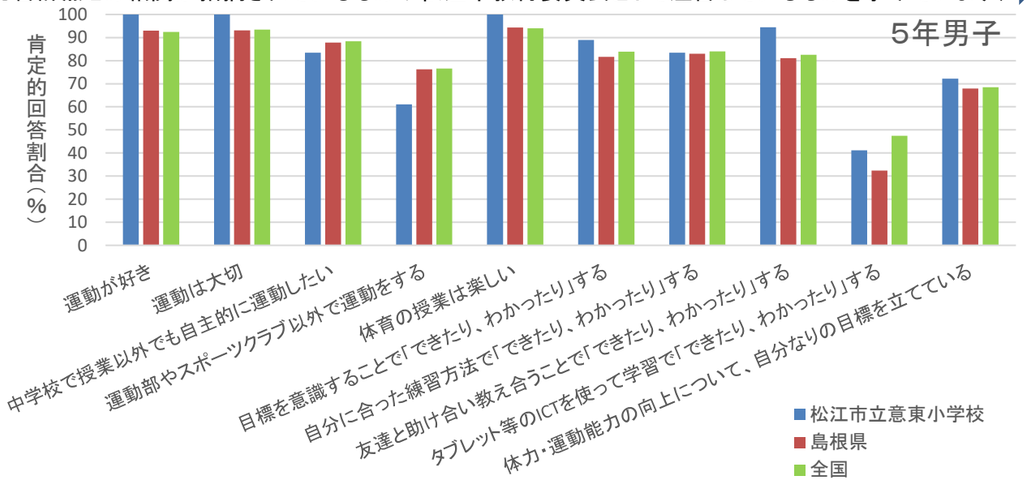


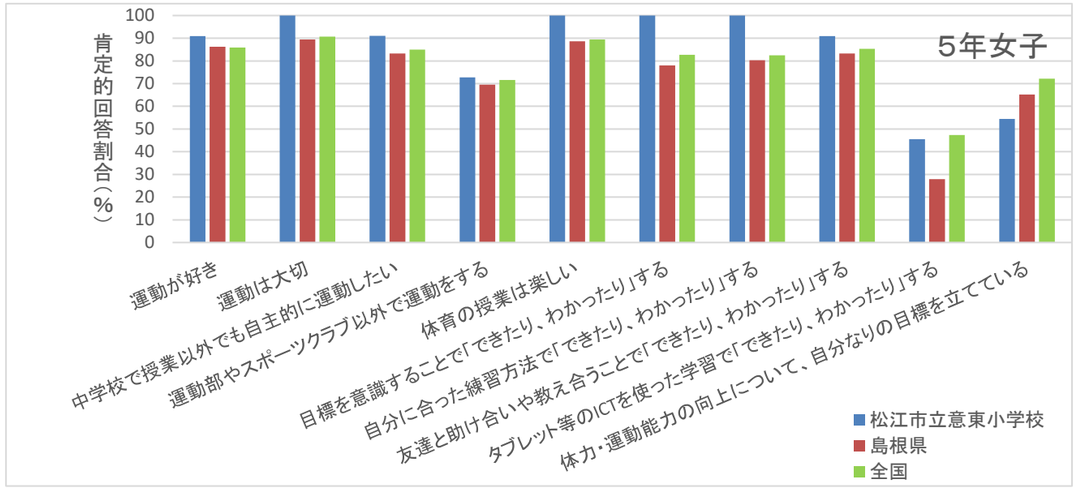




体力・運動能力面

意識

全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
（体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています）




## （2）調査結果の分析

### ①体力・運動能力面　全国（偏差値）との比較

| | 握力（筋力） | 上体起こし（筋持久力） | 長座体前屈（柔軟性） | 反復横とび（敏捷性） | シャトルラン（全身持久力） | 50m走（スピード） | 立ち幅とび（筋パワー） | ボール投（巧緻性） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子 | −1.2 | 1.9 | −4.0 | 0.0 | 2.9 | 2.6 | −0.2 | −1.9 |
| 女子 | 0.7 | 1.1 | −1.5 | 0.8 | −0.9 | 0.2 | 0.8 | −0.7 |

| 【−5p以上】 | 【−5〜−2p】 | 【−2〜0p】 | 【0〜2p】 | 【2〜5p】 | 【5p以上】 |
|---|---|---|---|---|---|

弱み ← → 強み

### ②意識面　全国（割合%）との比較

| | 運動が好き | 運動は大切 | 中学校で授業以外でも自主的に運動したい | 運動部やスポーツクラブ以外で運動をする | 授業は楽しい | 目標を意識することでできたりわかったりする | 自分に合った練習方法でできたりわかったりする | 友達と助け合い教え合いでできたりわかったりする |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子 | 7.6 | 6.6 | −5.0 | −15.5 | 6.0 | 5.0 | −0.6 | 12.0 |
| 女子 | 5.0 | 9.3 | 6.0 | 1.1 | 10.5 | 17.3 | 17.5 | 5.6 |

| | タブレット等のICTを使った学習でできたりわかったりする | 体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている |
|---|---|---|
| 男子 | −6.3 | 3.7 |
| 女子 | −1.9 | −17.7 |

| 【−7%以上】 | 【−7〜−3%】 | 【−3〜0%】 | 【0〜3%】 | 【3〜7%】 | 【7%以上】 |
|---|---|---|---|---|---|

弱み ← → 強み

## （3）令和5年度の方針【学校全体での取組】

①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・夏季体育実技研修の伝達講習を実施する。
・教員にアンケートを取り、高めたい指導技術や方法等についてのニーズを把握する。その結果をもとに、研修の時間を確保し、学期に1回程度実施することで、指導力の向上を図る。

②体育科授業の工夫・改善について
・年度初めの職員会で、体育授業のルール、基礎感覚を養うための運動、授業を充実させるためのポイント等について共通理解する時間を設定する。
・「握力」の記録が全国、県平均を上回ることを目標に、鉄棒運動に重点を置いた授業に取り組んだり、サーキットトレーニングで雲梯や登り棒での運動を取り入れたりする。
・各学年の年間指導計画を見直し、各運動の指導時期をおおまかに統一する。指導方法を共有したり、運動に関する用具をその期間、体育館の一部に設置したりする。

③体育授業以外の活動の工夫について
・縦割り班を活用し、6年生を中心にして異学年で遊ぶ場を設定する。
・毎朝の姿勢体操（放送で流す）、1学期の運動会、2学期のマラソン大会、3学期の縄跳び集会を全校で実施する。
・健康委員会とタイアップし、マラソン大会や縄跳び集会に向けて技術や体力を向上させる取り組みを行う。
・竹馬や一輪車を整備したり、すぐに使える場所に置き場所を変えたりするなどして、使って遊びたいと思える環境を作る。

④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・生活習慣カード（にこにこカード）の取組を継続し、睡眠、食事、運動などについて望ましい生活習慣が確立できるよう家庭の協力を得る。睡眠時間に重点をあてて呼びかけ、元気に運動ができる体づくりが目指せるようにする。
・運動会、クラブ活動、マラソン大会などで、家庭や地域の協力を得て、体力増進を図る。